

# 《カトリック大和高田教会 お知らせ》 2025年3月9日

典 礼 暦	日 時 など
四旬節第1主日	3月9日 (日) ベトナム語ミサ <b>15:00</b>
	3月13日 (木) ミサ 10:30
	3月15日 (土) ミサ 8:00
四旬節第2主日	3月16日 (日) ミサ <b>8:30</b>
	3月20日 (木) ミサ 10:30
	3月22日 (土) ミサ 8:00

《2025年の聖週間》(時刻は調整中。決まり次第、お知らせします)

- 4月13日(日) 受難の主日(枝の主日) ベトナム語ミサ
- 17日(木) 聖木曜日(主の晩餐の夕べのミサ)
- 18日(金) 聖金曜日(主の受難の祭儀、大斎小斎)
- 19日(土) 復活の主日(復活の聖なる徹夜祭ミサ)
- 20日(日) 復活の主日(日中ミサ)

## 【京都司教区】

◎「性虐待被害者のための祈りと償いの日」のミサのお願い  
 聖年の四旬節の回心の恵みを願って  
 教皇フランシスコは、聖職者による「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を四旬節第2金曜日と定めています。  
 京都司教区では、2025年3月21日(金)の週日のミサ、または3月23日(日)四旬節第3主日のミサの中で、教皇様の意向に合わせて、祈りをささげてくださいますようお願いいたします。(詳細は、掲示板をご覧ください)

### ●召命祈願ミサ

日時：3月28日(金) 午後2時～  
 場所：河原町教会司教座聖堂(聖年巡礼指定教会)  
 司式：大塚喜直司教  
 ※山田神学生の朗読奉仕者選任式

## 【奈良ブロック】

●「カトリック奈良ブロックホームページ」がリニューアルされました。

※ブロックのミサ予定、柳本神父様の説教、教会学校プリントがスマホやパソコンで見ることが出来ます。

URL [<https://catholic-nara.net/>]

上記のQRコードをご利用下さい。



## 【大和高田教会】

- 四旬節黙想会を下記の通り予定しております。  
 ご復活を迎える準備のために、是非、ご参加下さい。  
 日時：3月23日(日)ミサ後、9時40分～12時30分  
 指導：Sr. ローマ(詳細は、掲示板ポスターをご覧ください)
- 主日の日本語ミサ後に『聖年の祈り』を全員で唱えます。
- 「教区時報」「心のともしび」3月号が届いています。
- ◎「聖書の分かち合い」(Sr. ローマ)：3月13日(木)ミサ後
- ◆教会掃除当番  
 3月9日(日)ミサ後：D地区  
 3月15日(土)ミサ後：AB地区

## 本日の聖歌

入祭	典		奉納	典	
答唱	プ	{聖書と典礼}	拝領	典	
詠唱	プ	{聖書と典礼}	閉祭	典	

【典：典礼聖歌、聖：カトリック聖歌集、平：平和を祈ろう、プ：プリント】

### 3月9日 四旬節第1主日 ルカ4章1～13節 イエスは人間として誘惑に打ち勝たれた

今日から四旬節が始まります。「旬」は十日間を表すので四十日間ということですが、イエスが四十日の断食をされたということに基づいています。イエスの断食が実際に四十日だったかどうかというよりも、ノアの洪水の四十日四十夜、エジプト脱出後の四十年など、イスラエルで準備や試練を表す四十という数がそこに表わされているのでしょう。

今日の福音の箇所はその四十日間の断食の際の出来事です。そこでイエスは悪魔から三つの誘惑を受けられます。イエスが神の子として勇ましく悪魔と戦って勝利されるのはかっこいいですね。しかし、悪魔がひょいと出てきてうっしっしと笑いながらイエスを誘惑するというよりも、むしろ心の中の誘惑や葛藤と考えられます。イエスは神の子ですが、罪のほかは人間として生活されました。誘惑や葛藤自体は罪ではなく、人間として生きる誰もが経験するものです。イエスが受難を否定したペトロに「サタン、引き下がれ」と言われたように、悪魔は人間を悪へと誘惑する力が擬人化されたものと考えられるでしょう。わたしの姪（お姉ちゃんのほう）は小学生のとき、「鬼は人間の心の中にいるんやで」と言って先生を驚かせたという話を思い出しました。実はわたしの頭にも「ねるのだ悪魔」、いわゆる「睡魔」が住んでいるようで、午後の会議や講演会の際には「ねるのだ～ねるのだ～」と誘惑してきます。ほとんど負けてしまうのですが。

ここでの誘惑は三つです。第一は石をパンに変える誘惑です。それに対し、イエスは申命記8章3節の言葉によって拒否されます。荒れ野をさまよっているときに神がマナを与えられたのは、マナによって飢えを満たすことが目的だったのではなく、神によって人は生きるものであるということを伝えるためだったということが申命記の教えです。

第二の誘惑は偶像崇拜です。偶像とは異教の神のことというよりも、悪魔が言うようにこの世の権力と繁栄（富）です。これらのものを求めることは、神よりもこの世で多くの人々が求めているものを崇拜することです。第一の誘惑も健康や長寿こそが幸せだという考え方とつながるかもしれません。

第三の神殿から飛び降りる誘惑です。ルカとマタイでは第二の誘惑と第三の誘惑が逆になっています。神に信頼することは大切なのですが、悪魔の言葉は、神を試せと言っています。神を試すということは信頼の欠如であり、同時に「試してやろう」という上から目線の立場であるからです。イエスはそれを明確に否定されます。

わたしたちも食べ物や財産を必要以上に求め、神がほんとうに助けてくれるかどうか不安に感じることもあります。しかし、ここで重要なことは一人の人間であるイエスが誘惑に打ち勝たれたということです。イエスはわたしたちの分まで誘惑に打ち勝ってくださったのです。わたしたちが誘惑に負けそうなとき、あるいは負けてしまったときには、イエスが十字架を通してあがなってくださったことを思い出しましょう。（柳本神父）